X-Seven（クロスセブン）

取扱説明書

はじめに / 製品の特長

この度は「X-Seven（クロスセブン）」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は手軽に音楽を楽しめるデジタルオーディオプレイヤーで、次のような 7 つの特長を持っています。

MP3 ダイレクトレコーディング

ダイレクトレコーディングケーブルを使えば、パソコンを使わずに本体だけで CD や MD などの音楽機器から直接 MP3 録音ができます（P.32）。録音品質や録音時間を選択でき、128MB モデルで約 2 時間の録音が可能です。

ボイスレコーダー機能

本体にマイクを内蔵しており、ボイスレコーダーとして活用できます（P.32）。録音時間は 128MB モデルで最大約 10 時間と長時間で録音品質も選択できます。

FM ラジオ搭載

日本だけでなく、北米、ヨーロッパの周波数に対応したワールドワイドな FM チューナーを搭載しています。ラジオを聞くだけでなく録音にも対応しています（P.38）。

WMA、MP3 対応

WMA と MP3 の再生に対応しており、WMA 形式（64Kbps）を利用すれば、CD の音質そのままに 128MB モデルで CD 約 4 枚の音楽を手軽に持ち運べます（P.34）。

USB2.0 対応

USB2.0 対応 USB 端子を搭載しており、パソコンに直接接続して使えます（P.21）。USB マスストレージクラス対応のため、ドライバーソフトウェアのインストールも必要なく、特別なソフトを使わずパソコンとオーディオファイルのやり取りができます（Windows98 の場合はドライバーのインストールが必要）。

プリセットイコライザー搭載

Normal/Rock/Jazz/Classic/Pop の５つの音楽ジャンルに最適化されたプリセットイコライザー（EQ）が用意されており、好みの音質で音楽を楽しめます（P.46）。

A-B リピート機能

同一箇所を繰り返し聞きたいときに役立つ A-B リピート機能をはじめ、１曲リピート、全曲リピート、シャッフル再生、頭出しで全曲を確認できるプレビュー機能など、多彩な再生方法が利用できます（P.42）。

必ずお読みください

著作権についてのご注意

他者の著作物または歌唱・演奏の録音物を、私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の許諾を得ずに複製することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。また、実際に配信が行われているか否かにかかわらず、私的な目的で作成した複製物であっても、他者の著作権物または歌唱・演奏の複製物を、著作権者およびその他の権利者の許諾を得ずに、電気通信等の手段で配信が可能な状態にすることは、禁止されています。当社は本製品が上記の注意事項を守られず使用された場合、一切の責任を負わないこととします。

商標について

X-Seven（クロスセブン）の名称は、シーグランド株式会社の商標です。Microsoft、Windows、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

パソコンでの操作について

本取扱説明書では、パソコンの操作方法についても一部紹介をしておりますが、パソコン本体、OS、その他アプリケーションの操作については、ご利用されている製品の取扱説明書をご覧ください。不明点は、これらの製造元にお問い合わせください。

- お客様または第三者が、本製品またはパソコンや各アプリケーションの誤使用、使用中に生じた故障、メモリーの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あしからずご了承ください。
- 本取扱説明書の一部または全部をシーグランド株式会社の許可なく複製することはできません。
- 本取扱説明書に記載されている内容を、製品の機能の改善・改良を目的とし、将来予告なしに変更する可能性があります。
- 本取扱説明書は万全の注意を払って制作していますが、取扱説明書を参考にした操作において損害が生じても責任は負いません。
- 本取扱説明書は開発中の製品を元に制作されており、実際の製品とは一部外観が異なるものがあります。
- 画面ショットは、Windows XPおよびWindows Media Playerバージョン9を使用しています。お使いのパソコン環境によっては細部が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるように、本取扱説明書を大切に保管してください。

警告表示の意味

本取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



この記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容が記載されていることを示します。



この記号は、行為を禁止する内容が記載されていることを示します。



この記号は、行為を強制したり指示する内容が記載されていることを示します。

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと大けがの原因となります。**

運転中は使用しない

運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
また歩きながら使用する際も、事故を防ぐために、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

煙が出たり、変なにおいがするときは、ただちに使用を注意する

万一、異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、お買い上げ店またはシーグランド・ユーザーサポートにご相談ください。そのまま使用すると感電したり火災の原因となります。

正しく接続する

本製品をパソコンに取り付ける場合は、必ず本取扱説明書で接続方法を確認し、正しく接続してください。誤った接続をすると、パソコンや本製品から発煙したり火災の原因となります。

分解・改造しない

感電、火災、火傷などの事故の原因となります。修理はお買い上げ店またはシーグランド・ユーザーサポートにご依頼ください。改造した場合、保証期間であっても有料修理となります。

濡らさない

本製品を調理台や加湿器のそば、風呂場などの水などの濡れやすい場所または水のかかりやすい場所に置いたりご使用にならないでください。火災や発熱、感電、破損、故障の原因となります。
万一、水に濡れた場合は、すぐに電源をオフにし、お買い上げ店またはシーグランド・ユーザーサポートにご相談ください。

振り回さない

ストラップやヘッドホンコード、オーディオケーブルなどを持って本製品を振り回さないでください。周囲の人がけがをする恐れがあります。

端子部に金属類を差し込まない

ジャックなどに金属類を差し込まないでください。回路のショートや故障の原因となります。

⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

大音量で長時間連続で聞きすぎない

大きな音量で長時間続けて聞くと耳を刺激しすぎてしまい、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞く場合には注意し、周囲の音が聞こえるくらいの音量でお聞きください。

はじめからボリュームを上げすぎない

再生時にボリュームが上がりすぎていると、突然大きな音が鳴って耳をいためることがあります。ボリュームは再生しながら徐々に上げていきましょう。

コード類は正しく配置する

本体と他の機器をケーブルを使って接続をする際に、コードを正しく配置しないと足になどにひっかけて機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して、接続・配置してください。

ぐらついた台や傾いた場所に置かない

落下し、故障の原因となります。

幼児の手の届くところにおかない

けがなどの事故の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本製品で使用できる電池については、本取扱説明書でご確認ください。
電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

⚠危険

- ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘアピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそば、ストーブのそば、炎天下などの高温の場所で充電、使用、放置しない。
- 分解・改造しない。
- 強い衝撃を与えない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは傷害を起こす恐れがあります。すぐにきれいな水でよく洗い流してください。漏液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療をうけてください。

⚠警告

- 電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に投入したり、ハンダ付けしない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 液漏れや異臭がしたら、使用をやめ、ただちに火気より遠ざける。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、電池は取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

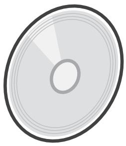
本製品は、故障・修理などによってデータが消えることがあります。万一データが消えても、当社としては内容についてまでの責任は負いかねます。重要なファイルについては、このような場合に備えて、定期的にバックアップをお取りください。

ご利用にあたってのお願い

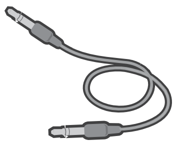
- 本製品に読み書き中はパソコンから本製品を抜かないでください。故障、データ破壊の原因となります。
- 本製品をパソコン本体に挿したままパソコンを起動した場合、本製品を認識しない場合があります。その場合は、いったん抜いてから挿し直してください。
- USB ハブに本製品を挿す場合、ご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体の USB ポートに直接挿し込んでください。
- 本製品はサスペンド / スタンバイ / スリープなどのモードに対応しておりません。
- USB ポートに挿しても、まれに認識しない場合があります。その場合は、いったん抜いてから挿し直してください。
- 録り直しのきかない録音の場合、必ず事前に試し録音をしてください。
- 操作上の問題または本製品の不具合により、正常に録音されなかった場合の録音内容の保証についてはご容赦ください。
- 本体は防水仕様になっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。
- 本製品をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
- 鞄などに入れる場合は、重たいものの下にならないようにご注意ください。

付属品について

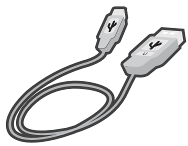
本製品には、以下のような付属品が同梱されています。お使いになる前に、まず付属品がすべて揃っていることをご確認ください。万一、付属品の不足や破損がございましたら、弊社サポートセンター（P.75）にご連絡ください。



ソフトウェア CD-ROM



ダイレクト
レコーディングケーブル



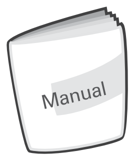
USB 延長ケーブル
（USB2.0 対応）



インナーヘッドホン



単 4 型アルカリ乾電池
（１本）



取扱説明書（本書）

上記のほかに、「保証書」と「ユーザー登録はがき」が同梱されています。また、カタログや注意書きの別紙が同梱されている場合があります。

※ イラストはイメージです。実際のものと異なります。

目次

はじめに / 製品の特長 2
必ずお読みください 3
安全上のご注意 4
電池についての安全上のご注意 7
ご利用にあたってのお願い 8
付属品について 9
お使いになる前に（準備） 13
各部の名称と機能 14
正面図 14
上側面 15
下側面 15
ディスプレイの見方 16
電池の取り付けかた 18
付属ソフトウエアのインストール 19
Windows98SE の場合 19
WindowsMe/2000/XP の場合 20
パソコンとの接続のしかた 21
パソコンからの取り外しかた 23
簡単にお使いください 25
電源を入れよう 26
電源を切ろう 27
音楽 CD をパソコンに録音しよう 28
オーディオファイルを本体に転送しよう 30
録音しよう 32
再生しよう 34
転送 / 録音した曲を選ぼう 36
グループについて 37
FM ラジオを聞こう 38
誤動作を防ごう（ホールド機能） 40

いろいろな再生 / 録音の楽しみかた 41
一定区間を繰り返し再生しよう（A → B リピート再生） 42
1 曲または全曲を繰り返し再生しよう（リピートトラック / オール） 43
曲順を変えて再生しよう（シャッフル） 44
曲の頭だし再生しよう（プレビュー） 45
好みの音質に調整しよう（プリセットイコライザー） 46
録音の品質を設定しよう〜サンプリング周波数 47
録音の品質を設定しよう〜ビットレート 48
よく聞く FM ラジオ局をプリセット登録しよう（プリセット登録） 49
FM ラジオを録音しよう（FM 録音） 50
ファームウエアのアップグレード 51
用語集 53
メニューの使いこなしかた 55
メニューの操作方法 56
Music（音楽を聞く） 57
Voice（ボイスモード） 57
FM Tuner（FM チューナー） 57
Settings（設定） 58
Delete（削除する） 60
Memory Info（メモリ情報） 61
Record（録音） 61
使用上のヒントとトラブルシューティング 63
使用上のヒント 64
トラブルシューティング（再生モード） 65
トラブルシューティング（FM ラジオモード） 67
トラブルシューティング（その他一般事項） 68
付録 69
主な仕様 70
パソコンの最低動作環境 71
ハードウェア保証規定 72
アフターサービスについて 74
サポートセンターのご案内 75
索引 77

お使いになる前に（準備）

各部の名称やディスプレイに表示されるマークの意味など、本製品の操作に必要な内容について紹介します。特に、本製品をはじめてお使いになる場合に必ずお読みください。

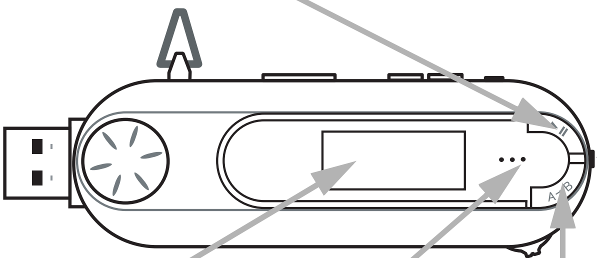
各部の名称と機能

正面図

USB 端子
パソコンのUSBポートまたは付属のUSB延長ケーブルと接続します（P.21）。端子部分を回転させて本体内部に収納できます。

▶II ボタン
電源をオン/オフしたり（P.26）、オーディオファイルを再生/停止します（P.34）。

Line-in ジャック
2.5mm タイプのステレオミニミニジャックです。ダイレクトレコーディングケーブルを使ってCDやMDなどのオーディオプレイヤーと接続し、録音します（P.32）。



ディスプレイ
ファイル名などさまざまな情報を表示します（P.16）。

内蔵マイク
ボイスレコーディング時に使います（P.32）。

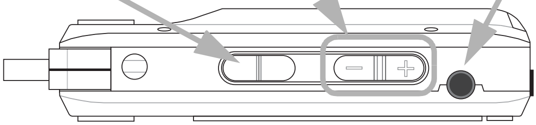
A → B ボタン
A-B リピート再生するリピート区間を設定します（P.42）。
2 秒以上押したままにすると、録音が始まります（P.32）。

上側面

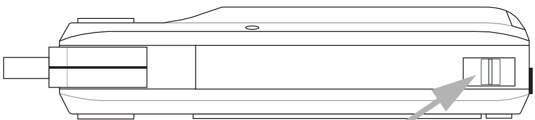
HOLD スイッチ
ボタンやスイッチの誤動作を防ぎます(P.40)。

VOL + / −ボタン
音量を調整します(P.34)。

ジャック
付属のインナーヘッドホンを接続します(P.34、38)。



下側面

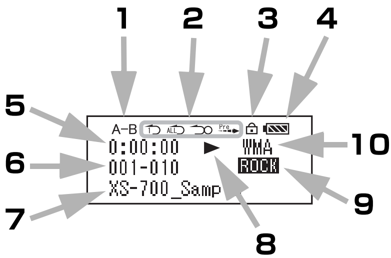


MENU レバー
|◀◀ や ▶▶| の方向に動かして、曲の早戻し / 早送りやさまざまな設定項目の選択をします(P.35)。
MENU レバーを押すと、メニューの表示や選択項目を確定できます(P.56)。

ワンポイント

音楽を楽しむためのマナー
音楽をお楽しみになる際は、周囲の人の迷惑とならない音量でお聞きください。また、夜間では小さな音も遠くまで聞こえるようになりますので音量には充分配慮した上でお楽しみください。

ディスプレイの見方



1　A-B

A-B リピート表示
A-B リピート再生を選択したときに表示されます (P.42)。

2



リピート・トラック表示
１曲のみリピートするリピート・トラック再生を選択したときに表示されます（P.43)。



リピート・オール表示
全曲をリピートするリピート・オール再生を選択したときに表示されます（P.43)。



シャッフル表示
ランダムな曲順で再生するシャッフル再生を選択したときに表示されます（P.44)。



プレビュー表示
メモリに読み込んだオーディオファイルの冒頭部分のみを再生するプレビュー再生を選択したときに表示されます (P.45)。

※ 各リピート / シャッフル / プレビュー再生の中からいずれかひとつを選択できます。

3



ホールド表示
ホールドスイッチをオンにしたときに表示されます (P.40)。

4



電池レベル表示
電池の残量（目安）を表示します（P.26)。

5 0:00:00

タイム・カウンター表示

1 曲の再生時間や録音時間を［時間：分：秒］の単位で表示します。

6 001-010

曲番号 / 曲数表示

選択 / 再生中のオーディオファイルの曲番号と、選んだグループ（Music/Voice）の曲数を表示します。

※ 曲番号（再生される曲順）については「曲順を並べ替えたい」（P. 64）をご覧ください。

7 XS-700_Sample

ファイル名 /ID3 タグ情報表示

選択 / 再生中のファイル名を表示します。日本語に対応しており、ID3 タグ（P.53）情報を持ったファイルの場合は、その内容が表示されます。

8 ▶ II ◀◀ ▶▶ ●

再生 / 一時停止、早戻し / 早送り表示、録音

再生、停止、早戻し / 早送り、録音の状態を表示します。

9 ROCK

EQ 表示

EQ メニューで［NORMAL/ROCK/JAZZ/CLASS(ICAL)/POP］のいずれかを選んだときに表示されます（P.46）。

※ EQ メニューで［Normal］を選んだときは、EQ 機能はオフとなり何も表示されません（P. 46）。

10 WMA

ファイル形式表示

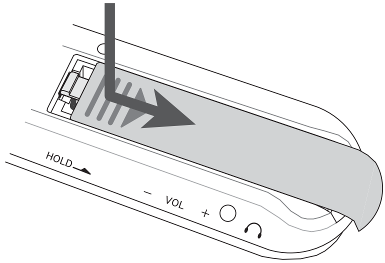
再生 / 録音中または選択したオーディオファイルのファイル形式（WMA/MP3/WAV）を表示します（P.53）。

電池の取り付けかた

本製品に使える電源は、単 4 型アルカリ乾電池（1 本）です。必ず指定の乾電池を使用してください。

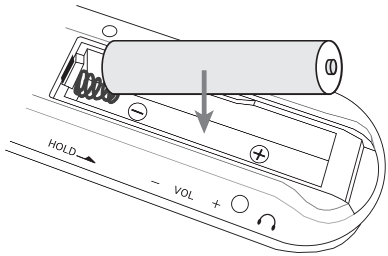
1 バッテリーカバーを外す

図の部分を軽く押したまま矢印にそってスライドさせてください。



2 乾電池を入れる

＋と－の向きに注意してください。電池は必ず－極側から入れてください。



3 バッテリーカバーを取り付ける

ワンポイント

- 電池を交換するときは、電源をオフにしてください。
- バッテリー・カバーは脱着式です。紛失しないようにご注意ください。
- 乾電池の＋ / －方向を間違えないようにご注意ください。
- 単 4 型アルカリ乾電池以外を使用すると性能が低下する場合があります。

付属ソフトウエアのインストール

本製品には、ドライバーソフトウェアとファームウェアのアップグレードプログラムが付属されています。アップグレードプログラムをインストールすると、自動的にドライバーソフトウェアもインストールされます。作業の手順は、お使いの OS が Windows98SE とそれ以外で異なります。インストール手順を間違えると、パソコンが本体を認識しなくなりますので充分にご注意ください。

Windows98SE の場合

本体をパソコンに接続する前に、プログラムをインストールしてください。

1 付属 CD-ROM をパソコンのドライブに入れる

自動的にインストーラーが起動します。

設定言語を［日本語］にして［OK］をクリックすると［InstallShield Wizard］が表示されるので［次へ］をクリックします。



2 インストール先を指定する

通常は変更する必要はありませんので［次へ］をクリックします。

変更したいときは［参照］をクリックしてインストール先を指定します。



3 プログラムフォルダを選択する

通常は変更する必要はありませんので［次へ］をクリックします。

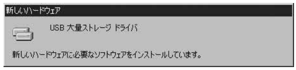
変更したいときはプログラムフォルダを入力します。



4 インストールの完了 / パソコンの再起動

インストールが完了したら、パソコンを再起動します。

再起動後に本体をパソコンと USB 接続すると本体が認識されます。



ワンポイント

アップグレードソフトウェアをインストールすると、自動的に MP3 プレイヤーソフト「X-Seven XS-700 Player」も併せてインストールされますが、このソフトウェアについてはサポート対象外です。ご了承ください。

WindowsMe/2000/XP の場合

上記 OS の場合、本製品は USB マスストレージクラス対応のため、ドライバーソフトウェアのインストールは必要がなく、本体をパソコンに USB 接続すると自動的に認識されます。

ただし、本体ファームウェアをアップグレードするときには、アップグレードプログラムのインストールが必須となります。

インストールの方法については、Windows98SE の手順をご覧ください。

注意

- 通常はファームウェアをアップグレードする必要はありません。
- アップグレード情報は、弊社ホームページ（http://www.seagrand.co.jp/）にて告知します。

パソコンとの接続のしかた

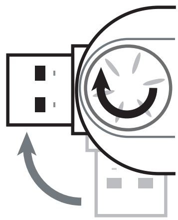
本製品は、パソコンと USB 接続してオーディオファイルを本体に転送することによって、気軽に音楽を楽しめます。

ワンポイント

ご利用のパソコンに搭載されている OS が Windows98SE のときは、本製品をパソコンに接続する前にドライバー・ソフトウェアのインストールが必要となります（P. 19）。WindowsMe/2000/XP ではじめてお使いになるときには、本製品が自動的に認識され、ドライバー・ソフトウェアがインストールされます。

1 USB 端子を取り出す

カチッと音がして USB 端子が固定されるまで、しっかり回してください。



2 パソコンの USB ポートに接続する

しっかりと奥まで挿し込んでください。USB ポートには向きがありますのでご注意ください。
本体の電源がオフの状態でパソコンと接続すると、自動的に電源がオンとなります。

ワンポイント

パソコンの USB ポートに直接接続することが難しいときは、付属の USB 延長ケーブルをご利用ください。

パソコンが本体を認識するとハードウェアの追加画面が表示され、タスクトレイにアイコンが表示されます（ただし、Windows98SE で使用した場合は、アイコンは表示されません）。



パソコンの［マイコンピューター］を開くと、本体は「リムーバブルディスク」として表示されます。

ワンポイント

- ドライブ名は、お使いのパソコンの環境（ハードディスクの状態や外付け周辺機器の状態）により自動的に割り当てられます。図では本体が「ドライブ：G」としてパソコンに認識されている状態を示しています。
- 本製品はUSB2.0 HI-SPEEDに対応していますが、USB1.1対応ポートに接続した場合は、USB1.1 FULL SPEEDでの接続となります。
- パソコンとUSB接続をしている間は、本体の操作はできません。

パソコンからの取り外しかた

パソコンの電源が入っている状態で本体をパソコンから取り外すときは、以下の手順で取り外してください。パソコンの電源が切れているときは、以下の手順は不要です。

注意

以下の手順をふまずに本体をパソコンから取り外すと、本体およびパソコンに不具合が発生する場合があります。特にファイル転送中などに強制的に取り外すとファイルの損失や故障の原因となります。必ず、以下の手順で取り外してください。

1 タスクトレイの［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックする



Windows98SE の場合は、アイコンが表示されません。ファイルの転送をしていないことを確認して、そのまま取り外してください。

2 一覧から本体を選ぶ



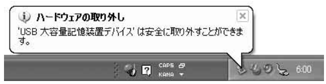
パソコンに USB 接続されている機器の一覧が表示されるので、本体（USB 大容量記憶装置デバイス）を選びます。

ワンポイント

［ハードウェアの安全な取り外し］ウィンドウが表示されたときは、本体を選んで［停止］ボタンをクリックします。［ハードウェアデバイスの停止］ウィンドウが表示されたら［OK］をクリックします。

3 本体を取り外す

「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、本体をパソコンから取り外します。



準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

簡単にお使いください

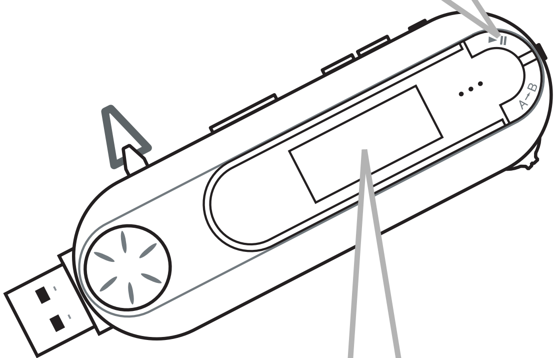
ここだけ読めばすぐに使えます

この章では、本製品のもっとも基本的な操作を説明しています。ここだけ読んでも本製品をご利用いただけます。さらに細かく使いこなしたい場合は、この章以降のページをご参照してください。

簡単に使う　電源を入れよう

1： ▶II ボタンを押す

電源が入り、［Power On］と表示されます。



2：電池レベル表示を確認する



ディスプレイの電池レベル表示を確認します。残量が少ないときは、電池を交換してください。図が右へいくほど電池残量が少ないことを表します。

ワンポイント

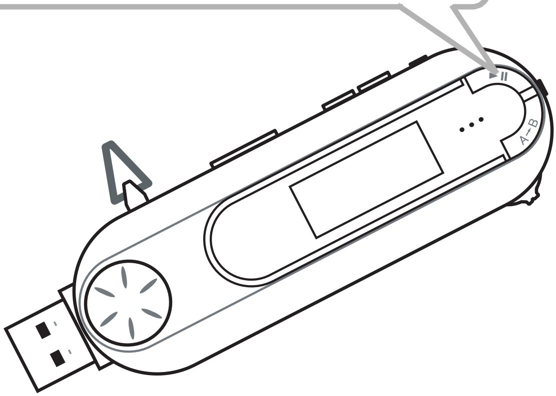
● 電源がオンにならない場合は、次の点をご確認ください。
　電池が空になっていないか
　HOLD スイッチがオンになってないか （P.40）

簡単に使う

電源を切ろう

1： ▶II ボタンを 2 秒以上押したままにする

[Power Off] と表示され、電源が切れます。



ワンポイント

- ▶II ボタンを押している時間が短いと電源がオフになりません。
- 電源がオフにならない場合は、HOLD スイッチがオンになってないかご確認ください（P. 40）。

簡単に使う　音楽 CD をパソコンに録音しよう

Windows に標準で用意されているアプリケーション「Windows Media Player」を使って、お気に入りの CD をパソコンに録音できます。録音してできたオーディオファイルを本体に転送すれば、いつでも手軽に音楽を楽しめます。

1：Window Media Player を起動する

Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択します。

2：CD をパソコンのドライブに入れる

パソコンの設定により CD が自動再生される場合は停止してください。



3：録音する曲を選ぶ

1：タスクバーの［CD から録音］をクリックして CD の収録曲リストを表示させせます。

2：録音したい曲のチェックボックスをオンにします。

4：録音する

［音楽の録音］をクリックすると、録音が始まります。

リストに「ライブラリに録音済み」と表示されたら録音完了です。

注意

Windows Media Player はバージョン 7.0 以降をご使用ください。

ワンポイント

- Windows Media Player のより詳細な使い方は、同アプリケーションの［ヘルプ］をご覧ください。
- Windows Media Player で初めて録音するときは「録音した音楽にコピー防止を追加する / しない」選択など、いくつかのオプションが表示されます。
- 録音したオーディオファイルは、初期設定では［マイドキュメント］の［マイミュージック（My Music)］フォルダにアーティストまたはグループ名のサブフォルダが自動作成され、その中に保存されます。これらはタスクバーの［メディアライブラリ］をクリックすると表示されます。音楽ファイルの保存先フォルダは、［ツール］メニューの［オプション］で変更できます（インターネットに接続されていない場合は「不明なアーティスト」、「不明なアルバム」などになります）。

簡単に使う　オーディオファイルを本体に転送しよう

Windows Media Player やインターネットなどを使ってパソコンに取り込んだオーディオファイル（WMA/MP3 形式）は、本体に転送することで再生できます。

1：本体をパソコンにUSB 接続する

正常に接続されると本体のディスプレイに [Ready] と表示されます。

2：Window Media Player を起動する

Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択します。



3：転送するオーディオファイルを選ぶ

1：タスクバーの［デバイスへ転送］をクリックします。

2：左側の［転送する項目ウィンドウ］のドロップダウンリストで、転送する再生リスト、区分、または項目を選び、オーディオファイル一覧を表示します。［すべての音楽］を選ぶと、パソコンに取り込まれているすべてのオーディオファイルを表示できます。

3：転送したいファイルのチェックボックスをオンにします。

4：本体（リムーバブルディスク）を転送先に選ぶ

[デバイス上の項目]ウィンドウのドロップダウンリストで、本体（リムーバブルディスク）を選びます。



5：転送する

[転送]ボタンをクリックすると、転送が始まります。リストに「完了」と表示されたら転送完了です。

注意

- オーディオファイルが持っている DRM（デジタル著作権管理）情報の内容によっては、本体に転送ができなかったり、転送しても再生できないことがあります（P.54）。
- 本体に存在するファイルと同じ名前のファイルを転送すると、既存ファイルは上書きされます。
- 本体のパソコンへの接続および取り外しの詳細な手順、注意事項については「パソコンとの接続のしかた」（P.21）をご覧ください。
- 転送中は、本体をパソコンから取り外さないでください。
- Windows Media Player はバージョン 7.0 以降をご使用ください。

ワンポイント

- Windows Media Player のより詳細な使い方は、同アプリケーションの［ヘルプ］をご覧ください。
- 本体のドライブ名（図では G:）は、お使いのパソコン環境により自動的に割り当てられるため、必ずしも G ドライブとなるとは限りません。

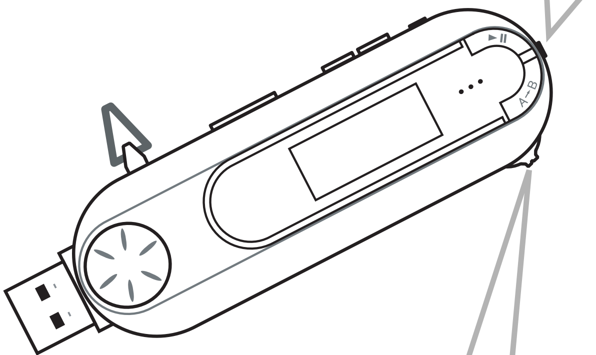
準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

簡単に使う 録音しよう

本製品では内蔵マイクで録音（ボイスレコーディング）、またはオーディオ機器を接続して録音（ダイレクトレコーディング）ができます。

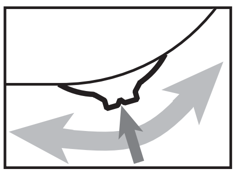
1：オーディオ機器を接続する（内蔵マイクで録音するときは不要）

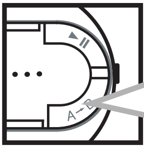
付属ダイレクトレコーディングケーブルの細いプラグを本体の Line-in ジャックに接続し、太いプラグをオーディオ機器に接続します。



2：録音ソースを設定する（録音ソースの変更が無いときは不要）

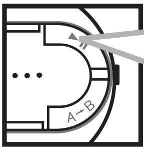
1：MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させます。
2：MENU レバーを左右に動かして［Settings］を選び、MENU レバーを押します。
3：MENU レバーを左右に動かして［Record Source］を選び、MENU レバーを押します。
4：内蔵マイクで録音するときは［Microphone］を、オーディオ機器を接続して録音するときは［Line In］を選び、MENU レバーを押します。手順 3 の画面に戻ります。そのまま操作せずにディスプレイが最初の画面（MUSIC グループ、もしくは VOICE グループの表示）に戻るまで 5 秒程度待ちます。





3：録音する

A → B ボタンを 2 秒以上押したままにすると録音が始まります。ディスプレイに●（録音）が点灯し、録音中のオーディオファイル名が表示されます。



4：録音を停止する

▶II ボタンを押すと録音が停止します。

注意

- 付属ダイレクトレコーディングケーブルの方向を間違えて無理に接続すると、故障や破損の原因になります。ケーブルの向きにはご注意ください。
- 操作上の問題または本製品の不具合により、正常に録音されなかった内容の保証についてはご容赦ください。
- 録音時にヘッドホンから聞こえる音量・音質は、再生時のものと異なります。事前に試し録音をして、再生時の音量・音質をご確認ください。

ワンポイント

- ボイス・レコーディングしたオーディオファイルは、V001、V002、V003…というファイル名で、ダイレクト・レコーディングしたオーディオファイルは、L001、L002、L003…というファイル名で保存されます。
- ディスプレイに表示されるメニュー一覧は、何も操作せずに5秒過ぎると元の画面に戻ります。
- 録音レベルは、録音ソースの音量に依存します。
- 録音するファイルの形式は、メニュー一覧の［Settings］で設定できます（P.59）。
- FM ラジオを録音することもできます（P.50）。

簡単に使う　再生しよう

本製品は、WMA や MP3 形式のオーディオファイルを再生して音楽を楽しめます。

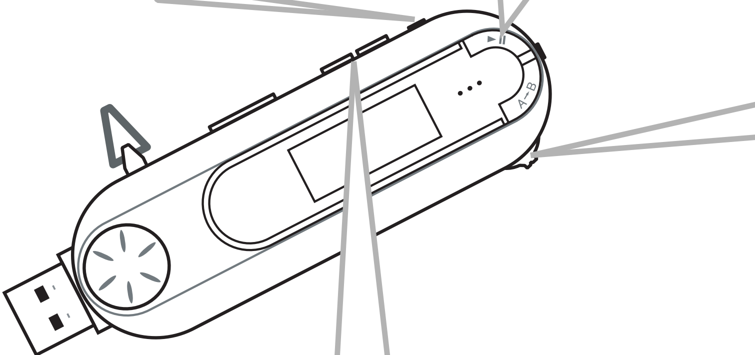
1：接続する

🎧 ジャックに付属のヘッドホンを接続します。

2：再生する

▶II ボタンを押すと、再生が始まります。

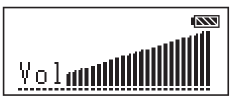
もう一度 ▶II ボタンを押すと停止し、再び ▶II ボタンを押すと停止した部分から再生が始まります。



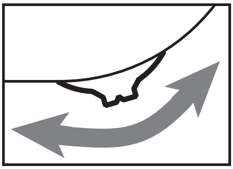
3：音量を調整する

VOL ＋ / －ボタンで、最適な音量に調整します。音量は、ディスプレイに表示されます。

何も操作せずに 5 秒過ぎると、元の画面に戻ります。



４：早送りや早戻しをする



MENU レバーを使うと次のような操作ができます。

●早送り再生

再生状態で MENU レバーを ▶▶| に動かします。

●早戻し再生

再生状態で MENU レバーを |◀◀ に動かします。

●次の曲の頭出し再生

停止状態で MENU レバーを ▶▶| に動かします。

●前の曲の頭出し再生

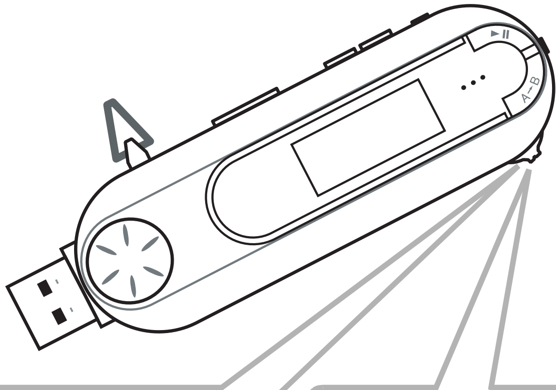
停止状態で MENU レバーを |◀◀ に動かします。

ワンポイント

- ▶II ボタンを 2 秒以上押したままにすると、電源がオフになります。
- 本製品の再生モードには、Music/Voice の 2 つのグループがあります (P.37)。
- お買い上げ時には、あらかじめデモファイルが本体メモリに用意されています。すぐに動作を確認したいときは、このデモファイルを再生してください。
- パソコンと USB 接続をした状態では、本体の再生などの操作はできません。

簡単に使う　転送 / 録音した曲を選ぼう

再生モードには、Music と Voice のふたつのグループがあります。グループを切り替えることで、再生したいオーディオファイルを選べます。



1：メニュー一覧を表示させる

MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させます。

2：グループを選ぶ

MENU レバーを左右に動かして、Music グループにするときは［Music］を、Voice グループにするときは［Voice］を選び、MENU レバーを押します。

元の画面に戻ります。

ワンポイント

- 電源をオンにすると、自動的に Music グループになります。
- 録音を停止すると、自動的に Voice グループになります。

簡単に使う　グループについて

本体メモリには、ボイス / ダイレクト /FM の各レコーディング時にそれぞれ VOICE/LINE/FM フォルダが自動作成されます。これらのフォルダ内に保存・転送したオーディオファイルを再生するときは、再生モードを Voice グループにします。それ以外のメモリエリアに保存・転送したオーディオファイルを再生するときは、再生モードを Music グループにします。



パソコンで本体（リムーバブルディスク）を開いた状態

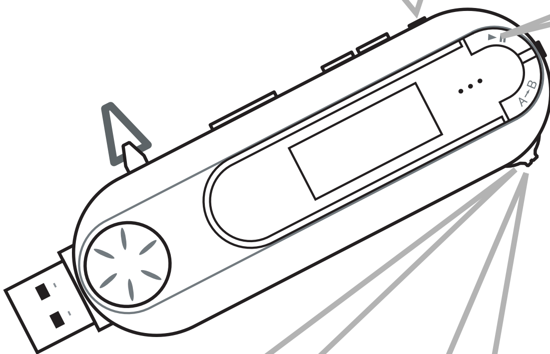
準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

簡単に使う　FM ラジオを聞こう

本製品では、日本だけでなく北米、ヨーロッパの周波数に対応した FM チューナーが内蔵されています。

1：接続する

🎧 ジャックに付属のヘッドホンを接続します。

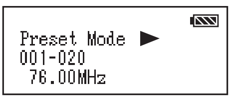


2：FM ラジオモードにする

1：MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させます。

2：MENU レバーを左右に動かして［FM Tuner］を選び、MENU レバーを押します。

3：ディスプレイが FM ラジオモードに変わります。



3：選局する

自動選局または手動選局で、放送局（周波数）を設定します。

選局のしかたは右ページをご覧ください。

4：FM ラジオを聞く

▶II ボタンを押すと放送が聞けます。

自動選局のしかた

1　MENU レバーを押してディスプレイに［Preset Mode］を表示します。

2　MENU　レバーを ▶▶I 方向に傾けたままにしておくと自動的に選局が始まります。

3　ディスプレイのプリセット番号が［001-020］に変わり、電波をキャッチすると［001-020］、［002-020］、［003-020］…と順番に周波数が保存され、自動選局が終了すると表示が［001-020］に戻ります。

4　MENU レバーを左右に動かして、聞きたい局のプリセット番号を選びます。

手動選局のしかた

1　MENU レバーを押してディスプレイに［Manual Mode］を表示します。

2　MENUレバーを左右に動かしてFMチューナーの周波数を設定します。周波数は0.1MHz 単位で変えられます。

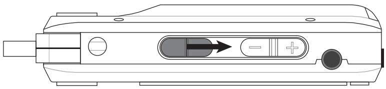
ワンポイント

- 本製品はイヤホンアンテナ方式によって電波を受信します。FM ラジオを聞くときは、必ずヘッドホンを 🎧 ジャックに接続してください。
- 電池の残量が少ないと雑音が発生しやすくなります。充分に残量のある電池をお使いください。
- MENU レバーを押すたびに［Manual Mode］と［Preset Mode］が切り替わります。
- FM ラジオモードから再生モードに戻るときはMENU レバーを 2 秒以上押したままにします。
- 手動選局した結果をプリセットに登録できます（P.49）。
- ラジオ録音もできます（P.50）。

簡単に使う

誤動作を防ごう（ホールド機能）

ホールド機能を使うと、気付かないうちにボタンが押されるいった誤動作を防げます。HOLD スイッチを矢印方向に動かすとホールド機能がオンになります。



ワンポイント

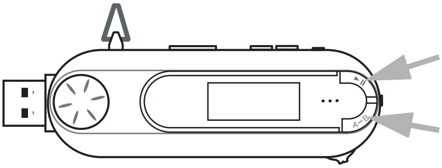
ホールド機能をオンにすると、電源のオン / オフも操作できません。

いろいろな再生 / 録音の楽しみかた

この章では、曲の再生や録音に関する便利な機能を説明しています。必要に応じてお読みください。

一定区間を繰り返し再生しよう（A → B リピート再生）

曲の中でリピートの開始点と終点を設定すると、その区間を繰り返し再生できます。



1 曲を再生する

▶II ボタンを押します。

2 開始点（A）を設定する

再生しながら、リピート再生を開始したいポイントで A → B ボタンを押します。

3 終点（B）を設定する

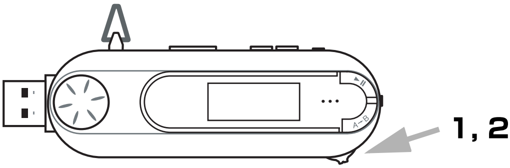
リピート再生を終了したいポイントで A → B ボタンを押すと A → B 区間が設定され、A → B リピート再生が始まります。ディスプレイには A → B リピートのアイコン A–B が表示されます。

ワンポイント

- A→Bボタンを2秒以上押したままにすると録音状態となりますので、短く押してください。
- 2 曲以上をまたがった A/B ポイントの設定はできません。
- A/B ポイントの設定は、電源をオフにすると失われます。

1 曲または全曲を繰り返し再生しよう（リピートトラック / オール）

再生 / 選択中の 1 曲だけをリピート再生したり（リピートトラック）、選んでいるグループの全曲をリピート再生できます（リピートオール）。メニュー一覧から設定します。



1 メニューを表示する

MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させます。

MENU レバーを左右に動かして[Settings]を選び、MENU レバーを押します。

2 リピートの種類を選ぶ

MENU レバーを左右に動かして [Repeat] を選び、MENU レバーを押します。

1 曲のみをリピートときは［Repeat Track］を、全曲をリピートするときは［Repeat All］を選び、MENU レバーを押します。

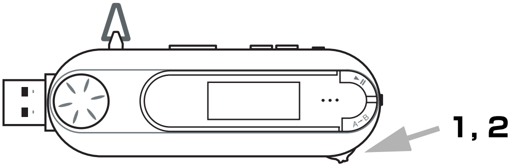
ディスプレイには、選んだリピートのアイコン 1 / ALL が表示されます。

ワンポイント

通常再生をするときは、[Repeat] メニューで [Normal] を選んでください。

曲順を変えて再生しよう（シャッフル）

曲順を自動的に並べ直して再生できます。メニュー一覧から設定します。



1　メニューを表示する

MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させせます。
MENU レバーを左右に動かして[Settings]を選び、MENU レバーを押します。

2　リピートの種類を選ぶ

MENU レバーを左右に動かして［Repeat］を選び、MENU レバーを押します。
［Shuffle］を選び、MENU レバーを押します。

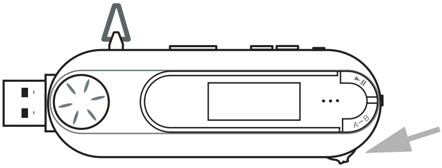
ディスプレイには、シャッフルのアイコン が表示されます。

ワンポイント

通常再生をするときは、[Repeat］メニューで［Normal］を選んでください。

曲の頭だし再生しよう（プレビュー）

曲の冒頭部分（10 秒間）のみを順番に再生できます。メニュー一覧から設定します。



1 メニューを表示する

MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させます。
MENU レバーを左右に動かして[Settings]を選び､MENU レバーを押します。

2 リピートの種類を選ぶ

MENU レバーを左右に動かして [Repeat] を選び、MENU レバーを押します。
[Preview] を選び、MENU レバーを押します。

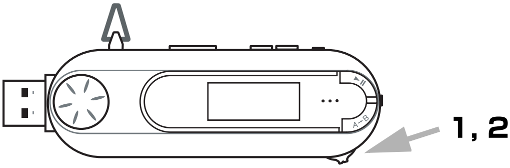
ディスプレイには、プレビューのアイコン Pre が表示されます。

ワンポイント

通常再生をするときは、[Repeat] メニューで [Normal] を選んでください。

好みの音質に調整しよう（プリセットイコライザー）

5 つの音楽ジャンルに最適化されたプリセットイコライザー（EQ）が用意されており、曲を好みの音質で楽しめます。メニュー一覧から設定します。



1 メニューを表示する

MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させます。
MENU レバーを左右に動かして［Settings］を選び、MENU レバーを押します。

2 プリセットイコライザーの種類を選ぶ

MENU レバーを左右に動かして［EQ］を選び、MENU レバーを押します。
［Normal］、［Rock］、［Jazz］、［Clas(Classic)］、［Pop］の中から好みのプリセットを選び、MENU レバーを押します。
ディスプレイには、選択したプリセットイコライザーのアイコンが表示されます。

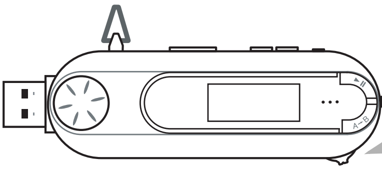
ROCK　JAZZ　CLASS　POP

ワンポイント

- 通常の音質で再生をするときは、［EQ］メニューで［Normal］を選んでください。
- ［Normal］を選んだときは、EQ 機能はオフとなり何も表示されません。

録音の品質を設定しよう～サンプリング周波数

サンプリング周波数とは、内蔵マイクから入力されたサウンドを録音するときに、1 秒間のサウンドをどれだけ細かくデジタル信号化するかを表す数値です。メニュー一覧から設定します。一般に数値が高いほど高音質となりますが、データの量（ファイルサイズ）は大きくなります。音楽 CD のサンプリング周波数は 44100Hz です。



1 メニューを表示する

MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させせます。

MENU レバーを左右に動かして[Settings]を選び、MENU レバーを押します。

2 サンプリング周波数を設定する

MENU レバーを左右に動かして［Record Sample］を選び、MENU レバーを押します。

MENU レバーを左右に動かして 8000/11025/16000/22050/32000/44100/48000Hz のいずれかのサンプリング周波数を選び、MENU レバーを押します。

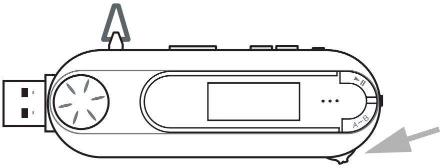
ワンポイント

- サンプリング周波数は録音を始める前に設定しておきます。
- 設定したサンプリング周波数はWAVE形式で録音しているときにディスプレイに表示されます。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

録音の品質を設定しよう～ビットレート

ビットレートとは、1 秒間に転送できるデジタル信号の量を表したものです。メニュー一覧から設定します。サンプリング周波数と同じく、一般に数値が高いほど高音質となりますが、データの量（ファイルサイズ）は大きくなります。MP3 形式の録音時のみ設定できます。



1 メニューを表示する

MENU レバーを押して、メニュー一覧を表示させます。

MENU レバーを左右に動かして[Settings]を選び、MENU レバーを押します。

2 ビットレートを設定する

MENU レバーを左右に動かして［Encord Bitrate］を選び、MENU レバーを押します。

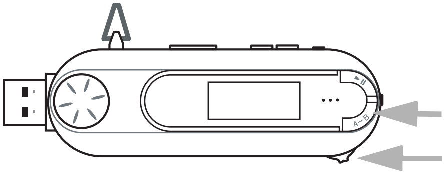
MENU レバーを左右に動かして 32.0/48.0/56.0/80.0/96.0/112.0/128.0Kbps のいずれかのビットレートを選び、MENU レバーを押します。

ワンポイント

- ビットレートは録音を始める前に設定しておきます。
- 設定したビットレートは MP3 形式で録音しているときにディスプレイに表示されます。

よく聞く FM ラジオ局をプリセット登録しよう（プリセット登録）

内蔵 FM チューナーは手動で選局した放送局（周波数）をプリセットに登録できます。



1 FM ラジオモードにする

手順は「FM ラジオを聞こう」（P.38）をご覧ください。

2 登録するプリセット番号を選ぶ

MENU レバーを押してディスプレイに［Preset Mode］を表示させます。

MENU レバーを左右に動かし、登録したいプリセット番号を選びます。

3 手動で選局する

MENU レバーを押してディスプレイに［Manual Mode］を表示させます。

MENU レバーを左右に動かして FM チューナーの周波数を設定します。周波数は 0.1MHz 単位で変えられます。

4 放送局（周波数）を登録する

A → B ボタンを押します。

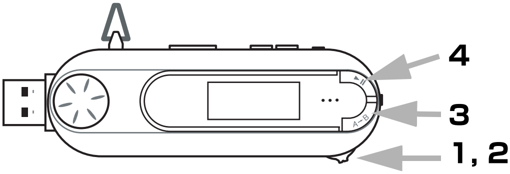
手順 3 で設定した放送局（周波数）が手順 2 で選んだプリセット番号に登録されます。

ワンポイント

手順 2 で選んだプリセット番号に既に登録があるときは内容が上書きされます。

FM ラジオを録音しよう（FM 録音）

FM ラジオを聞きながら、その放送を本体で録音できます。



1 録音するファイル形式を設定する

録音するオーディオファイルの形式を設定します（P.59）。

2 FM ラジオを聞く

手順は「FM ラジオを聞こう」（P.38）をご覧ください。

3 録音する

A → B ボタンを押すと、画面が録音状態となり録音が始まります（P.33）。

4 録音を停止する

▶II ボタンを押すと録音が終わり、元の画面に戻ります。

ワンポイント

- 本製品はイヤホンアンテナ方式によって電波を受信します。FM ラジオを聞くときは、必ずヘッドホンを ジャックに接続してください。
- 電池の残量が少ないと雑音が発生しやすくなります。充分に残量のある電池をお使いください。
- FM ラジオを録音したオーディオファイルは、F001、F002、F003…というファイル名で保存されます。
- FM ラジオを録音するときは、電波状況によって雑音が録音されることがあります。録音中は本体を電波状況のよい場所に置き、移動させないようにしてください。

ファームウエアのアップグレード

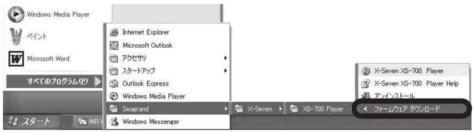
ファームウェアとは、本体のシステム・プログラムのことで、アップグレードをすると、本体はそのままで新しい機能や操作手順を追加できます。ここでは本体ファームウェアのアップグレードの手順を説明します。

1 本体をパソコンに USB 接続する（P.21）

正常に接続されるとディスプレイに［Ready］と表示されます。

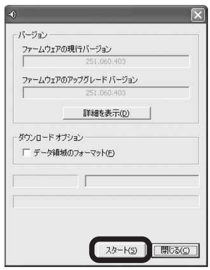
2 アップグレードプログラムを起動する

Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Seagrand］－［X-Seven］－［XS-700 Player］－［ファームウェアダウンロード］を選択します。



3 アップグレードを開始する

［スタート］ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップグレードが始まります。



4 作業を終了する

アップグレードが正常に終了したら、ウィンドウに［完了］と表示されます。

［閉じる］ボタンをクリックしてプログラムを終了し、パソコンから本体を取り外してください（P.23）。



準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

注意

- 通常はファームウェアをアップグレードする必要はありません。
- アップグレード情報は、弊社ホームページ（http://www.seagrand.co.jp/）にて告知します。
- アップグレードをする前に次の点をご確認ください。
  アップグレードプログラムがパソコンにインストールされている（P.19、20）
  インターネットに接続している

ワンポイント

パソコンに本体を接続する前にアップグレードプログラムを起動すると［システムにつながっているデバイスを検索中］と表示されるので、本体をパソコンに接続してください。

用語集

ファイル形式

オーディオファイルには、データの形式によっていくつかの種類があり、ファイル形式として分類されます。ここでは、本製品で再生できる WMA/MP3/WAV について説明します。

● WMA（Windows Media Audio）

Microsoft 社が開発した音声圧縮フォーマットです。Windows に標準装備されている Windows Media Player で音楽 CD を WMA ファイルにできます。

● MP3（MPEG Audio Layer-3）

オーディオ CD 並みの音質で、データ量を約 10 分の 1 に圧縮できる音声圧縮フォーマットです。

● WAV（Windows Wave）

Windows で標準的に使われている音声ファイルフォーマットです。データが圧縮されていないので高音質ですが、データ量は大きくなります。本製品では、本製品で録音した WAV のみ対応します。

ID3 タグ

オーディオファイルに、曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンルなどの情報を加えて、再生時にプレーヤ上に表示するための規格です。ID3 バージョン 2 からは、歌詞などの情報もオーディオファイルに持たせることができます。

本製品では、曲名情報を持っている場合に ID3 タグを認識して表示することができます。

DRM（デジタル著作権管理機能）

デジタルデータの著作権を保護する技術で、音楽配信サイトなどからダウンロード購入した WMA などのオーディオファイルは、DRM 情報が含まれています。

通常、DRM で保護されているオーディオファイルはダウンロードしたパソコンでのみ再生でき、他のパソコンやプレイヤーにコピーや転送をしても再生できません。

しかし、本製品は WMA ファイルの DRM に正規に対応しており、Windows Media Player を使ってファイルを転送した場合に限り、オーディオファイルを再生できます。

ワンポイント

- ただし、DRM 情報に「ポータブルプレーヤーへの転送不可情報」や、「転送可能回数制限」などが含まれているときは、ファイルの転送や再生ができない場合もあります。このように、本製品は必ずしもすべての WMA ファイルの再生を保証するものではありません。
- Windows Media Player 以外の方法（エクスプローラを使ったファイルコピーなど）でファイルを転送すると、再生制限がかかり本製品では再生できません。ファイルの転送には Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player

Windows に標準装備されているマルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアで、音声や動画の再生が楽しめます。Microsoft 社が無償で配布しており、最新はバージョン 10 です（2004 年末現在 / ただしバージョン 10 は Windows XP のみで使用可能）。

メニューの使いこなしかた

この章では、本製品のさまざまな設定をするメニューの操作方法と各種設定項目を説明します。「簡単にお使いください」（P.25）「いろいろな再生 / 録音の楽しみかた」（P.41）を併せてお読みください。

メニューの操作方法

メニューでは再生や録音に関するさまざまな設定ができます。MENU レバーを使うだけの簡単な操作で、あらゆる設定が可能です。ここでは、メニューの選びかたを説明します。各メニューの内容については次ページ以降をご覧ください。

1 MENU 一覧を表示する

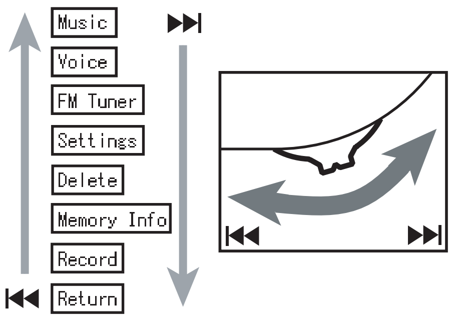
MENU レバーを短く押してメニュー一覧をディスプレイに表示させます。

2 メニューを選ぶ

MENU レバーを左右に動かして「Music」「Voice」「FM Tuner」「Settings」「Delete」「Memory Info」「Record」の中から設定したいメニューを選びます。元に戻りたいときは「Return」を選びます。

MENU レバーを短く押すと選んだメニューが実行、または選択され、元の画面に戻ります。

さらに細かな設定項目があるときは、サブメニューが表示します。



ワンポイント

- メニュー一覧を表示した状態で何も操作せずに5秒過ぎると、設定は実行されず元の画面に戻ります。
- MENU レバーを左右に動かす代わりに、ボリュームボタンの＋/－ボタンで選択操作することができます。

Music（音楽を聞く）

再生モードを Music グループに設定します（P.37）。
本体メモリ内の VOICE/LINE/FM フォルダ以外に保存したオーディオファイルを再生できます。
電源投入時は、再生モードが Music グループに設定されます。

Voice（ボイスモード）

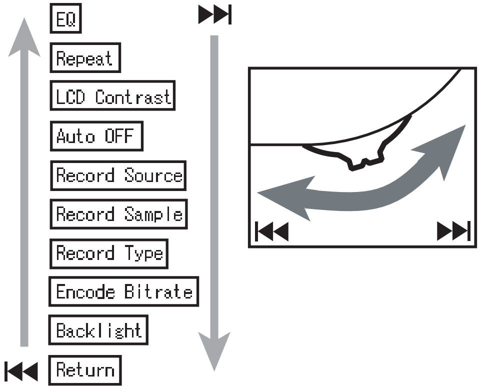
再生モードを Voice グループに設定します（P.37）。
本体メモリ内の VOICE/LINE/FM フォルダに保存したオーディオファイルを再生できます。
録音終了後は、再生モードが Voice グループに設定されます。

FM Tuner（FM チューナー）

FM ラジオモードに設定します（P.38）
FM ラジオを聞いたり放送を録音できます。
MENU レバーを 2 秒以上長押しすると、再生モードに戻ります。

Settings（設定）

Setting メニューには、さらに以下のようなサブメニューがあります。
MENU レバーを使ってサブメニューを操作します。



ワンポイント

- サブメニュー一覧を表示した状態で何も操作せずに5秒過ぎると、設定は実行されず元の画面に戻ります。
- MENU レバーを左右に動かす代わりに、ボリュームボタンの＋/－ボタンで選択操作することができます。

EQ

Normal/Rock/Jazz/Clas(Classic)/Pop/Return

プリセットイコライザーを選びます（P.46）。

選んだプリセットイコライザーは Music/Voice グループのどちらにもかかります。

イコライザーを使用しないで再生をするときは [Normal] を選びます。

Repeat

Normal/Preview/Repeat Track/Repeat All/Shuffle/Return

リピート（P.42、43）やシャッフル（P.44）、プレビュー（P.45）などの再生方法を選びます。

複数の再生方法を同時に選ぶことはできません。

通常の再生をするときは［Normal］を選びます。

LCD Contrust

0 ～ 32

ディスプレイ表示のコントラストを調整します。

お買い上げ時は［16］に設定されています。

Auto OFF

Disable/1min/2min/5min/10min/Return

何も操作されなかったときに自動的に電源を切る時間間隔を設定します。

電源を切りたくないときは［Disable］を選びます。

Record Source

Microphone/Line In/Return

録音する入力（内蔵マイク /Line in ジャック）を選びます（P.32)。

FM ラジオを録音するときは設定の必要はありません。

Record Sample

8000/11025/16000/22050/32000/44100/48000Hz/Return

WAV 形式で録音する時のサンプリング周波数を設定します（P.47)。

Record Type

WAV/MP3

録音するときのオーディオファイルの形式を設定します。

Encode Bitrate

32.0/48.0/56.0/80.0/96.0/112.0/128.0Kbps/Return

MP3 形式で録音するときのビットレートを設定します（P.48)。

一般に数値が高いほど高音質となりますが、データの量（ファイルサイズ）は大きくなります。

Backlight

Disable/5sec/10sec/15sec/20sec/25sec/ALL/Return

操作したときにディスプレイのバックライトが点灯する時間を設定します。

点灯させたくないときは［Disable］を、常に点灯させたいときは［ALL］を選びます。

バックライトの点灯時間が長いと電池が早く消費されます。

Delete（削除する）

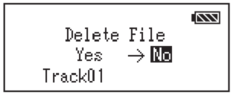
オーディオファイルを削除します。

1 Music または Voice グループを選ぶ

メニュー一覧で［Delete］を選び、MENU レバーを押します。

MENU レバーを左右に動かして［Music］または［Voice］グループのいずれかを選び、MENU レバーを押します。

2 削除するファイルを選ぶ



選んだグループのオーディオファイル名と［Yse］［No］メニューが表示されます。

MENU レバーを左右に動かして［Yes（削除）］または［No（削除しない）］を選びます。

3 ファイルを削除する

［Yes］を選んで MENU レバーを押すとファイルを削除します。

削除しないときは［No］を選び、MENU レバーを押します。

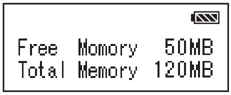
途中で処理を中止したいときは、必ず［No］を選び MENU レバーを 2 秒以上押したままにします。

注意

- 一度削除したオーディオファイルは元に戻せません。オーディオファイルを削除するときは、充分注意してください。
- 重要なオーディオファイルを誤って削除しないように、パソコンへ定期的にバックアップをしてください。
- お客様または第三者が、本製品またはパソコンや各アプリケーションの誤使用、使用中に生じた故障、メモリーの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あしからずご了承ください。

Memory Info（メモリ情報）

本体メモリ（Tolal Memory）と残り容量（Free Memory）の情報を表示します。



ワンポイント

- すべてのオーディオファイルを削除してもメモリの一部をファームウェア（システムプログラム）が使用するため、[Total Memory] は 0MB にはなりません。
- [Total Memory] はご利用の製品のメモリ容量よりも少なく表示されます。

Record（録音）

内蔵マイクでの録音（ボイス・レコーディング）、またはオーディオ機器を接続しての録音（ダイレクト・レコーディング）が始まります。

ワンポイント

A → B ボタンを 2 秒以上押したままにしても録音が始まります（P.32）。

使用上のヒントと
トラブルシューティング

この章では、本製品を使いこなすためのヒントと、陥りやすいトラブルとその原因、対処方法について説明しています。サポートセンターにお問い合わせいただく前に、一度トラブルシューティングの内容をご確認ください。

使用上のヒント

曲順を並べ替えたい

Music/Voice グループともファイルの名前順に曲が並べられます。順番は、半角数字→半角アルファベット→全角数字→全アルファベット→全角日本語（五十音）です。

本体メモリ内にフォルダを作ったときは、ルートフォルダ以下、上記の規則でフォルダが並べられたうえで、それぞれのフォルダに保存しているオーディオファイル（曲）が並べられます。

曲順を指定したいときは、これらの規則をもとにファイル名やフォルダ名の先頭に数字（01**、02**、03**、…など）をつけるなどの方法があります。

ワンポイント

曲名情報（ID3 タグ）を持ったオーディオファイルの場合は、見かけ上のファイル名ではなく曲名情報の内容によってファイルを並べます。そのため、ファイル名を変えても、自由に曲順をつけられないときもあります。

録音した内容を保存したい

本体をパソコンと USB 接続し（P.21）、エクスプローラーなどで本体を開くと、本体メモリ上に保存されているオーディオファイルを見ることができます。この中から保存しておきたいファイルをマウスで選び、ドラッグ＆ドロップでパソコンにコピーできます。コピーしたオーディオファイルは、Windows Media Player で再生できます。

ポケットなどに入れていると勝手にボタンが押されてしまう

ホールド機能を使うと、気付かないうちにボタンが押されるといった誤動作を防げます（P.40）。

録音した曲ごとにファイルを分割したい

本体で録音すると停止したところまでがひとつのオーディオファイルとして保存されます。曲ごとにファイルを分割したいときは、録音 / 停止の作業を繰り返してください。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

トラブルシューティング（再生モード）

WMA ファイルが再生できない

Windows Media Player の［デバイスへの転送］を使わずに、Windows のエクスプローラなどでファイルを本体にコピーすると、以下の場合はオーディオファイルを再生できません。

1：ダウンロード購入した DRM 情報が有効なオーディオファイルの場合

2：CD からパソコンに録音したときに著作権保護機能が働いたとき

2 の場合は、［ツール］－［オプション］の［音楽の録音］タブで［保護された音楽を録音する］チェックボックスをオフにして音楽 CD から録音することで、再生が可能となります。

しかし、いずれの場合もファイルの転送は Windows Media Player をお使いください。

また、ビットレートは 32 ～ 192kbps の範囲を超えた WMA ファイルは再生できません。

WAV ファイルが再生できない

本製品は、本体で録音した WAV ファイルの再生に対応しています。他の機器やパソコンで録音したファイルなど、すべての WAV ファイル再生を保証するものではありません。

転送したはずのオーディオファイルがみつからない

再生モードが Music グループに設定されているときは、VOICE/LINE/FM フォルダ内のオーディオファイルは表示されません。誤ってこれらのフォルダにファイルが転送されていないかご確認ください（P.37）。

すべてのファイルがみつからない

本体のファイルシステムが正常ではない可能性があります。メモリのフォーマットをしください。Windows の［マイコンピューター］から本体（リムーバブルディスク）を選択し、右クリックで［フォーマット］を選ぶとフォーマットが開始されます。フォーマットをすると、本体内のすべてのファイルは消去されます。

録音したはずのファイルがみつからない

初期プログラムでは、MP3 形式で録音したオーディオファイルはルートフォルダに保存されます。今後のファームウェアアップグレード（P.51）で VOICE/LINE/FM の各フォルダに保存されるように変更予定です。弊社ホームページにてアップグレード情報をご確認ください。

作成したフォルダが認識されない

本体メモリには、パソコンでの操作で VOICE/LINE/FM フォルダ以外のフォルダも作れますが、これらのフォルダは認識されず、中身のファイルが直接認識されます。

パソコンでファイル名を変えても本体の表示が変わらない

オーディオファイルが曲名情報（ID3 タグ）を持っている場合は、パソコン上で表示されるファイル名ではなく、ID3 タグの曲名情報が優先されてディスプレイに表示されます（P.53）。そのためファイル名を変更しても表示が変わらない場合があります。

ファイルの拡張子（.WMA/.MP3）が表示されない

曲名情報（ID 3 タグ /WMA タグ）を持ったオーディオファイルの場合、ディスプレイには拡張子が表示されません。

ファイル名がスライド表示されないファイルがある

ファイル名が半角英数字で 13 文字以上（拡張子を含め 17 文字以上）の場合はファイル名がスライド表示されます。12 文字以下（拡張子を含め 16 文字以下）の場合は、スライド表示されません。

A → B リピートを設定しようとすると録音が始まる

A → B ボタンを 2 秒以上押したままにすると録音が始まります（P.32)。A → B リピートの区間設定をするときは、A → B ボタンを短く押してください (P.42)。

トラブルシューティング（FM ラジオモード）

ラジオがきれいに聞こえない

本体に搭載されている FM チューナーはイヤホンアンテナ方式のため、ヘッドホンを接続していないときれいに受信できません。FM ラジオを聞いたり録音するときは、必ずヘッドホンを接続してください。

ラジオに雑音が多く混ざる

電池の残量が少ないとノイズが発生しやすくなります。充分に残量のある電池をお使いください。

A → B ボタンを押しても FM ラジオを録音できない

FM ラジオモードで A → B ボタンはふたつの使い方があります。

- 短く押すと手動選局をプリセットにメモリーする（Manual Mode 時）（P.49）
- 2 秒以上押したままにすると録音が始まる（P.50）

録音するときは長めに A → B ボタンを押してください。

準備
簡単に使う
再生／録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

トラブルシューティング（その他一般事項）

電源が入らない

以下の点をご確認ください

- 電池の残量が充分か（P.26）
- 電池を正しい向きに入れているか（P.18）
- HOLD スイッチがオンになってないか（P.40）

オーディオファイル /FM ラジオの音が鳴らない

以下の点をご確認ください。

- ヘッドホンが正しく接続されているか（P.15）
- ボリュームが最小になっていないか（P.15）
- 再生しようとしているオーディオファイルがパソコンでも再生できるか
  （パソコンでも再生できない場合はファイルが無音または壊れている可能性があります）

ファイルの転送ができない

以下の点をご確認ください。

- ファイル名が長くないか
  （長いファイル名を持つファイルは、ファイルサイズ以上にメモリを消費します。一度短いファイル名に変えてから転送してみてください）
- メモリ残量があるか（P.61）
  （転送可能なメモリ容量はメニュー一覧の［Memory Info］で確認できます）

メニュー操作中に画面が元に戻ってしまう

各メニュー画面は、何も操作せずに 5 秒過ぎると元の画面に戻ります。

Windows 2000/XP で付属ソフトウェアがインストールできない / フォーマットができない

Administrator、または Administrator 権限を持つユーザーでログオンしているかご確認ください。

Windows Me でデバイスマネージャに緑色の×マークが表示される

この表示は仕様です。動作に問題ありませんので、そのままお使いください。

付録

主な仕様

種類	項目	仕様
音声再生	再生ファイル形式	MP3、WMA、WAVE（注1,2）
	再生周波数	20Hz～20,000Hz
FMチューナー	受信周波数	76.0MHz～108MHz
	アンテナ	ヘッドホン/イヤホンアンテナ
S/N比	FMチューナー	50dB
	オーディオ再生	90dB
音声録音	録音ファイル形式	MP3、WAVE
	最大録音時間	MP3：約2時間（128MB）/約4時間（256MB）/約8時間（512MB） WAVE：約10時間（128MB/8kHz）
内蔵メモリ		128MB/256MB/512MB
その他	電源	単4アルカリ乾電池×1本
	連続使用時間	約12時間（注3）
	PC接続インターフェイス	USB2.0（Type A）（注4）
	入力デバイス	2.5mmステレオミニミニジャック/内蔵マイク
	出力デバイス	3.5mmステレオミニジャック
	液晶画面（LCD）	バックライト付きLCD/日本語表示対応
	付属ソフトウェア	専用ファームウェアアップデートプログラム Windows98SE用ドライバーソフトウェア
	ボディーカラー	レッド/シルバー/ブラック
	本体寸法	100（W）×30（H）×20（D）mm
	重量	約40g（電池を除く）

注１：MP3（32kbps ～ 320kbps）、WMA（32kbps ～ 192kbps）、可変ビットレート（VBR）でエンコードされた物もこの範囲を逸脱した場合には再生が正常ではなくなる場合があります。

注２：WMA 形式の DRM（デジタル著作権管理）に対応していますが、ダウンロード購入された楽曲については、全ての楽曲の転送・再生を保証する物ではありません。

注３：新品のアルカリ乾電池を使い、ボリューム設定 10 で MP3（128kbps）ファイルを連続再生した場合。電池の消耗状況および利用環境により使用時間は変動します。

注４：USB2.0 HI-SPEED 対応。USB1.1 ポートに接続した場合には、Full Speed モードでの接続となります。

パソコンの最低動作環境

項目	仕様
対応OS	Microsoft Windows 98SE /Me/2000/XP（注5）
CPU	Pentium 2以上
メモリ	128MB以上
ハードディスク	100MB以上の空き容量（注6）
必要機器	CD-ROMドライブ
	USBポート（2.0/1.1）
その他	インターネットに接続できる環境
	Internet Explorer 4.01SP2以降
	Windows Media Player7.0以降

注 5：いずれの OS も日本語版でアップグレードインストールでない環境が必須です。上書きインストールした環境、OS が正常に動作していない環境は保証対象外です。Windows 2000 の場合は、サービスパック（SP2 以降）がインストールされていることが必要です。

注 6：別途オーディオファイルを取り込むためには、さらに大きな空き容量が必要です。

ハードウェア保証規定

本取扱説明書の注意書きおよび付属の説明書に従った使用状況で、本製品が保証期間内に故障した場合、下記の保証規定の範囲内で無料修理をさせていただきます。

以下は、ハードウェアに関する保証規定を記載しております。ご使用前に、必ずお読みください。

注意

- この保証は本製品のハードウェアに関するものであり、何らかのネットワークサービスの利用を保証するものではありません。
- プログラム、データの使用、あるいは誤使用による損害または損失についての責任は負いません。

ハードウエア保証規定

1. 本保証は、本保証規定により、お買い上げより 1 年間のハードウェア無償交換もしくは修理をお約束するものです。データの消失等については、一切保証いたしかねますので、ご了承ください。
   無償交換時に保証書が必要となりますので、大切に保管願います。
2. 製品が取扱説明書記載の通常の使用方法により正常に動作しなくなった場合は、弊社の判断で無償で修理もしくは同等品と交換いたします。交換の場合は、送付された旧製品等はお返しいたしません。また、修理もしくは交換に際し、メモリの内容については保証致しかねます。
3. 但し、次のような場合には、保証期間内でも無償での交換・修理は致しかねます。
   A) 弊社製品と判断出来ない場合
   B) 製品を弊社正規販売店以外より購入された場合。
   C) ハードウェア自身の消耗に起因する故障または損傷
   （本製品は製品の性質上、書き込み可能回数など製品寿命がございます。）
   D) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷
   E) お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取り扱いが不適当なため生じた故障または損傷
   F) ご使用時の不備あるいは接続している他の機器によって生じた故障または損傷
   G) 取扱説明書の記載内容に反するお取り扱いによって生じた故障または損傷
   H) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合
   I) その他交換が認めがたい行為が発見された場合
4. お買い上げ後 1 年間を経過したもの、および上記「3」の項目に該当するものは有償修理となります。また、その場合に弊社が修理不可能と判断した場合は、修理をお受けせずに送付された製品をご返却する場合があります。
5. 本製品を運用した結果の他への影響については一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

保証期間経過後の修理について

この保証規定は、規定内で明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

アフターサービスについて

本製品が正常動作しなくなった場合は、現象、環境等の詳細をお書きの上、無償修理対象になる場合は、保証書等とともに本製品を弊社サポートセンターまでお送りください。直接弊社にお持込になられても対応できかねますので、必ず修理品はお送りいただく様お願いいたします。

送付される際は、輸送時の破損を防ぐため厳重に梱包し、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包にてお送りください。

送料については、発送時の費用はお客様負担、返送時の費用は、無償修理および交換の場合は弊社負担、有償修理の場合はお客様負担とさせていただきます。製品到着後、修理もしくは交換品の手配が揃いしだい、ご返送させていただきます。

送付していただくもの

- 本製品
- 保証書（保証書に購入店、購入日の記載がない場合には、お買い上げ時の領収書等の購入日が証明できるものをあわせて送付ください。コピーでも可能です。）

送付先住所

〒 101-0038
東京都千代田区神田美倉町 3 コスモビル 6F
シーグランド株式会社　X-Seven サポートセンター
TEL 03-3526-5416

本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

ユーザー登録のご案内

シーグランドは、ユーザー登録されたお客様に対して、サポートやバージョンアップのご案内など、各種サービスを実施させていただきます。同梱されている「ユーザー登録はがき」に必要事項を記入の上、ご登録手続きをしてください。なお、弊社ホームページからもユーザー登録ができます。

http://www.seagrand.co.jp/regist/index.shtml

サポートセンターのご案内

本製品の操作上の疑問や不明点もしくは動作の不具合などは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターにお問い合わせいただく前には、まず本取扱説明書をよく読み、特に「使用上のヒントと トラブルシューティング」(P.63)をご参照ください。

インターネットをご利用できる方は、弊社ホームページで製品発売後に発見された不具合やその対策などの最新情報を公開しております。サポートセンターにお問い合わせいただく前に、一度弊社ホームページをご覧ください。

シーグランド株式会社　サポートセンター

電話：03-3526-5416
FAX：03-3526-9564
E-MAIL：support@seagrand.co.jp
ホームページ：http://www.seagrand.co.jp/support/index.shtml
電話対応時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00 まで

- E-MAIL や FAX でのお問い合わせの際には、ご連絡先や質問事項、ご利用機器の構成(OS やパソコンの機種名、メモリ、空き容量など）をできるだけ詳しくご記載ください。
- トラブルの状況によっては、調査のためお時間を頂戴することがあります。予めご了承ください。
- Windows の使い方やパソコン固有の問題に関しては、各製品のユーザーサポートへお問い合わせください。
- 弊社で動作保証している機器以外の組み合わせで、ご利用になられた場合の不具合に関しては、弊社ではサポート致しかねます。
- お問い合わせいただいた順に回答させていただきますが、内容により前後する場合がございます。
- 調査にお時間をいただくような内容の場合などには、1 週間程度のお時間をいただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

索引

英数字

Auto OFF（自動電源 OFF）............59
A → B ボタン 14
A → B リピート再生.........................42
Backlight（バックライト）.............59
CD から録音 28
Delete（削除）.................................60
DRM（デジタル著作権管理機能）....54
Encode Bitrate
（エンコードビットレート）..............59
FM Tuner（FM チューナー）...........57
FM ラジオモード 38
FM 録音 50
HOLD スイッチ 15
ID3 タグ...53
LCD Contrust
（液晶コントラスト）.........................59
Line-in ジャック 14
Manual Mode（手動モード）..........39
Memory Info（メモリ情報）...........61
MENU レバー...................................15
MP3 53
Music グループ 37
Music（ミュージック）....................57
Preset Mode
（プリセットモード）.........................39
Record（録音）................................61
Record Sample
（録音時の周波数）...........................59
Record Source
（録音する入力元）...........................59
Record Type（録音ファイル形式）59
Repeat（再生方法）.........................58
Return（戻る）.................................56
Settings（設定）..............................58
USB2.0 2
USB 延長ケーブル...........................21
USB 接続...21
USB 端子...14
Voice グループ...............................37
Voice（ボイス）...............................57
VOL ＋ / －ボタン 15
WAV 53
Windows Media Player 54
WMA...53

あ

アップグレード 51

お

音楽の録音 28
音量を調整 34

か

乾電池...18

き

曲番号 / 曲数表示............................17

さ

再生...34
再生モード 37
サンプリング周波数.........................47

し

自動選局 39
シャッフル 44
手動選局 39

す

スライド表示 66

た

タイム・カウンター.........................17
ダイレクトレコーディング 32

つ
次の曲の頭出し再生..........................35

て
ディスプレイ......................................14
デバイスへ転送..................................30
電池レベル表示..................................26

な
内蔵マイク 14

は
ハードウェアの安全な取り外し........23
早送り再生 35
早戻し再生 35

ひ
ビットレート.....................................48

ふ
ファームウエア.................................51
ファイル形式.....................................53
ファイル名 17
フォーマット.....................................65
プリセットイコライザー 46, 58
プリセット登録..................................49
プレビュー 45

ほ
ボイスレコーダー機能 2
ボイスレコーディング 32

ま
前の曲の頭出し再生..........................35

め
メニュー 56

り
リピートオール 43
リピートトラック..............................43
リムーバブルディスク.......................21

記号
▶‖ ボタン 14
🎧 ジャック 15

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

X-Seven（クロスセブン）取扱説明書

2005 年 2 月　第 3 版発行

発売元：シーグランド株式会社

Printed in China

乱丁落本はお取り替えいたします。